

匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業

平成 30 年度 第 1 回 飯倉駅前地区まちづくり協議会 議事録

日時	平成 30 年 12 月 1 日（土） 13 : 00～14 : 15	
出席者	<p>■協議会委員</p> <p>井上 峰夫 社会福祉法人九十九里ホーム理事長 飯島 長男 前匝瑳市豊栄地区シニアクラブ副会長 鈴木 弘 匝瑳市シルバー人材センター会長 栗山 恭典 千葉興業銀行法人戦略部長代理 代理出席 伊場 寛人 千葉興業銀行八日市場支店長 小川 俊恵 匝瑳市介護事業者連絡協議会長 加瀬 功一 匝瑳市ボランティア連絡協議会長 増田 利夫 豊栄地区社会福祉協議会長 飯島 正義 豊栄地区区長会長 椎名 英夫 幼稚園・保育園運営者代表 大関 明 須賀地区区長会長</p> <p>■事務局</p> <p>社会福祉法人九十九里ホーム 江波戸 美代 専務理事 鎌形 和宜 総務付</p> <p>特定非営利活動法人元気な日本をつくる会 須田 憲和 組織運営本部長 武藤 克哉 組織運営本部事務局長</p> <p>■オブザーバー</p> <p>匝瑳市 大木 寛幸 匝瑳市企画課長 林 雅之 匝瑳市企画課まちづくり戦略室長</p>	
議事録	事務局	1 開会 開会のあいさつを行った。

	事務局	<p>2 委員紹介</p> <p>委員から自己紹介を行った。</p>
	事務局	<p>3 議事</p> <p>(1) 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業の説明 別紙説明資料に基づき、事業概要、これまでの経過について説明（要点のみ）。</p> <p>平成 30 年度は以下の議題について検討を行う。</p> <p>① 移住・定住への P R 手法</p> <p>匝瑳市の魅力の P R 移住・定住情報の提供 ⇒匝瑳市への移住・定住のキッカケづくり</p> <p>② 移住者向けサービスの検討</p> <p>移住・定住者へのケア 各種アクティビティの提供 ⇒移住・定住者を飽きさせない仕組みづくり</p> <p>(2) 平成 30 年度取組</p> <p>株式会社ソーシャルサービスの提供する、全国の郵便局ネットワークを活用した P R 手法について説明。 別紙原稿案を作成しており、今年度中に取組みを行う。</p> <p>(3) 参考事例</p> <p>【移住定住 P R 手法】</p> <p>千葉県一宮町 ⇒移住定住用 P R サイトについて</p> <p>岡山県新庄村 ⇒対象を限定した P R 手法について</p> <p>【移住者向けサービス】</p> <p>スマートコミュニティ稲毛 ⇒居住者の自発的なサークル活動や、事業者側が提供する各種アクティビティについて</p>

	事務局	ここまでのところ、ご意見いかがか。
	A 委員	<p>匝瑳市の現状を見ればPRするのも大変だと思う。</p> <p>なぜかというとは点かあるが、一つは2年前別の所で勤めていた時に、国の方から1週間調査に来た。</p> <p>宿泊施設が中々無く、銚子から1週間通った経験がある。</p> <p>もう一つは会議室がない。他の団体の会議室を借りたり、旭の会議室を借りたりしている。</p> <p>市が折角、駅前に観光物産施設として匝りの里を作るのであれば、2階、3階建てにして会議室を作ったら自然と人は来たのではないか。</p> <p>特別にPRできるものが匝瑳市にはあるのか。</p> <p>工業団地といっても道路整備が出来ないと難しい。</p> <p>働く場所がない。買い物に不便。</p> <p>中々PRは難しいのではないか。</p>
	B 委員	<p>施設が順調に完成するのであれば、住民一体となってPRすべき。移住・定住PRは必要。</p>
	C 委員	<p>例えば須賀地区の場合として、現在1,200世帯あるが、お金を出して区会に入ってくれるのはうち700世帯ほど。入る人がいないから区会の役割もすぐ回ってくる。なおさら入りたくないという循環になっている。</p> <p>この地域の問題ではなくて、匝瑳市全体の問題。PRすることも重要だが、中から見直していかないといけないのではないか。</p>
	D 委員	<p>移住するには地域の祭や植木をPRすることが良いのだけれども、先程の意見にあったとおり、PRに至る前段階として、住民全体がまとまって受け入れる雰囲気を作らないといけないのではないか。</p> <p>都会に比べれば食べ物も美味しいし、温暖で気候も良いし、住むには良いところだと実感している。それを分かるようにPRしていかないといけない。</p> <p>宿泊施設がないのであれば、行政と一緒に民泊等</p>

	<p>E 委員</p>	<p>を活用できるようになれば良いのではないかと。</p> <p>先般市長と懇談会があった。市長に直接お話ししたのだが、成田空港の第3滑走路ができると7、8万人の雇用が出来る。そこに来る従業員がどこに住むのかという話題があった。</p> <p>匝瑳市内でも車で30分くらいで成田空港へアクセスできる。住むにはピッタリなところ。多古町では先手を打ってニュータウンを作るなどしている。移住・定住とよく聞かすが、受け皿を作らないと入ってこない。</p> <p>匝瑳市は何かを作るときに中途半端なものを作ることが多い。私は匝りの里に関係があるが、あのような小規模で売上げを上げていくということは困難である。</p> <p>宴会場もない。表彰や叙勲といったイベントも他市で行っているケースも多い。匝瑳市のお金が結局、他市へ抜けていっている。匝瑳市に残らない。</p> <p>駅からハイキングで何千人来たといっても、匝瑳市にお金を落とさない。お金を落とす仕組みがない。</p> <p>市に聞きたいが、移住・定住促進にどれほどの予算を組んでいるのか。</p>
	<p>匝瑳市</p>	<p>今回の事業（生涯活躍のまち形成事業）に対して約1億円の予算を組んでいる。</p> <p>移住・定住の直接的な支援として、匝瑳市内に住まいを取得する際に奨励金を出しているが、年間2千万円ほど出している。</p> <p>小さいところでは、空き家バンクの事業を行っており、HP上での情報提供、マッチングを行っている。</p>
	<p>E 委員</p>	<p>補助金は来た人に対して出すものであり、来させるための予算は無いのか。PRするためにはお金が必要。</p>
	<p>F 委員</p>	<p>定住するには魅力がないと来ない。若者が来るとしたら働く場所がないと来ない。工業団地も閉鎖しているところも目に付く。</p> <p>高齢者から見ると、交通の便も良いとは言えない。</p>

	<p>G 委員</p> <p>H 委員</p>	<p>配食サービスも色々規定があって思ったように出来ない。工夫次第で出来ると思うのだけれども。</p> <p>中途半端ではいけない。やるのであれば徹底的にやらないといけない。</p> <p>銚子市が人口減少している。しかしながら、隣の茨城県神栖市では人口が増えている。この理由はなぜなのか。</p> <p>新しい人を呼ぶ場合に、その条件を明示するようにすればいいのではないか。</p> <p>最近の学生達は責任ある仕事をやりたがらない傾向にある。若者の動向が昔と違う。</p> <p>働く場所の問題については、行政が動かないと難しいだろう。</p> <p>工業団地についても、茨城には鹿島工業団地があり、先程の話にもあったが、神栖のほうに移ってしまう。工業団地は大規模な所が来ないといけない。</p> <p>高齢者というよりは若者が集まってこないと活力が生まれてこないのではないか。</p>
	事務局	<p>4 閉会</p> <p>次回は1月19日(土)時間は同じ13:00から。</p>